

ひきずり出し、さんざん打ちのめし、うり子姫のかたきをとつたんだとお。

### 狐にばかされかかる

むかし元苗内に豊之助というじいさんで、鉄砲ぶちの名人がいたんだとお。あるとき鉄砲をかついで長窪の山に入り、昼飯を食おうと窪の入に來ると、急にあたりがまっ暗になり一歩も進めなくなつたんだとお。魔者のいたづらと思つて、ゆっくり腰かけて、たばこ入れの胴乱からたばこをとり出し、スパリスパリとやつていたとお。そうするとしばらくして自然にやみが消えて明るくなり、あたりが見えるようになったんだとお。お弁当に油あげの煮物が入っていたのをとりに來た、狐の仕業だったとあとで気がついたのでお。